

## 平成30年度島根県国民健康保険特別会計の決算概要について

## 1 平成30年度県国保特会の決算概要

- 歳入は約654億円、歳出は約643億円となり、繰越金が約11億円となった。
- 繰越金のなかには定率国庫補助金の返還金が約9億円程度含まれているが、実績報告にあわせて金額を精査中。

(単位：百万円)

歳入	歳出	差引
65,375	64,277	1,098

## 【歳入・歳出クロス表】

(単位：百万円)

歳入 \ 歳出	合計	市町村 納付金	国庫負担金 ・補助金	療養給付等 交付金	前期高齢者 交付金	共同事業 交付金	一般会計 繰入金	基金 繰入金
合計	65,375	18,334	16,874	426	26,151	45	3,465	80
保険給付費等交付金（普通交付金）	51,955	13,047	10,559	319	26,151	45	1,754	80
保険給付費等交付金（特別交付金）	2,134	0	1,073	0	0	0	1,061	0
後期高齢者支援金	7,479	3,818	3,210	0	0	0	451	0
前期高齢者納付金	32	32	0	0	0	0	0	0
介護納付金	2,411	1,187	1,015	64	0	0	145	0
特別高額医療費共同事業拠出金	61	27	34	0	0	0	0	0
財政安定化基金事業費	146	0	146	0	0	0	0	0
その他	59	0	5	0	0	0	54	0
歳出計	64,277	18,111	16,042	383	26,151	45	3,465	80
繰越金	1,098	223	832	43	0	0	0	0

## 【保険給付費の推移】

	H28	H29	H30	H29/H28	H30/H29
療養の給付費等（百万円）	60,658	60,564	60,463	99.8%	99.8%
被保数（人）	136,367	133,117	129,917	97.6%	97.6%
1人あたり（円）	444,813	454,967	465,393	102.3%	102.3%

※H28、H29の療養の給付費等：事業年報（C表）から抜粋

※H30の療養の給付費：療養給付費等交付金実績報告

※被保数：各年度の3月末現在（月報A表）

	納付金 算定時	実績報告	差引	率
療養の給付費等（百万円）	62,214	60,463	-1,751	97.2%
被保数（人）	135,025	129,917	-5,108	96.2%
1人あたり（円）	460,755	465,393	4,638	101.0%

※ 上記の数値のうち平成30年度分は精査中であり、今後変動する可能性があります

## 2 剰余金の処分（案）

○ 案1

R2年度の納付金算定において、納付金総額から差し引くことで、全市町村の事業費納付金を減額する。

○ 案2

繰越金のうちX%を納付金の減額に利用し、残額を新たな基金として留保する。

※ X%は、事業費納付金総額の増減の状況により決定

※ 基金は、年度間の納付金総額の平準化、全体として行う事業に充てる

### 【基金の種類と目的等】

	財政安定化基金		【新規】
	本体基金（国補助）	特例基金（国補助）	県独自基金（繰越金）
目的	保険給付費の急激な増加や保険料の収納不足など、年度内のキャッシュフロー不足に対応する	新制度の円滑な施行のため市町村に対する必要な資金の交付に充てる	新制度の円滑な施行のため市町村に対する必要な資金の交付に充てる
対象	① 収納不足が生じた市町村への貸付、交付 ② 県国保特会への繰入	国保事業費納付金算定した結果、基準以上に納付金が増加した市町村（激変緩和措置）	県国保特会へ繰入
規模	9.8億円	1.4億円	
備考	貸付等の翌々年度から3年間で償還、積み戻し	対象期間が限定（H30年度～R5年度） H31年度納付金算定時に33百万円活用	剰余金から積立